

# 事務事業評価（確認書）

1頁  
平成30年 6月 4日  
13時25分13秒作成

評価年度	平成29年度	所属	4001000000	選挙管理委員会事務局
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

## <基本事項>

事務事業番号	00821	選挙管理委員会運営事業							
章	08	基本計画推進のために							
節	04	計画的な行財政運営の推進							
細節	00								
予算事業	10211	01	02	04	01	02	01	01	選挙管理委員会運営事業（選挙管理委員会費）
所属長	河瀬 隆啓							担当者（内線）	宇山（2882）
根拠法令等	公職選挙法								
事業開始年度	不明	直近の改正	なし						
改正内容	なし								
市単独事業区分	<input type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input checked="" type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

## <事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	適正な選挙の管理・執行		
目標	適正な選挙の管理・執行		
結果	適正な選挙の管理・執行		
事業概要	月1回の定例委員会に加え、選挙時には2～3か月に渡り月数回の臨時委員会を開催し、多数の議案を審議し議決を行う。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①			
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

## <事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	23,714	14,415	6,764	6,664	5,100
人件費職員数(人)	2.50	3.00	4.50	4.50	2.50
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	20,425	23,700	36,234	36,234	19,863
総事業費(A+B)	44,139	38,115	42,998	42,898	24,963
特定財源(C)	124	116	50	84	50
国	124	104	50	84	50
府	0	0	0	0	0
その他	0	12	0	0	0
市負担(D)	44,015	37,999	42,948	42,814	24,913
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	44,015	37,999	42,948	42,814	24,913
財源計(C+D)	44,139	38,115	42,998	42,898	24,963

所属	選挙管理委員会事務局
事務事業番号	00821

## &lt;活動指標&gt;

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

## &lt;成果指標&gt;

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

## (3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	適正な選挙の管理・執行	目標	適正な選挙の管理・執行
成果内容	適正な選挙の管理・執行	達成状況	平成29年10月執行の衆議院総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査を適正に執行した。

## &lt;総合評価&gt;

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定		
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。(理由: 適正な選挙執行にかかる委員会の運営を行ったため。)</p> <p>【今後の方向性】 公職選挙法第5条は、選挙の管理機関について定めており、国の選挙は中央選挙管理会が、府の選挙は府選挙管理委員会が、市の選挙は市選挙管理委員会が管理するものとされています。よって半永久的に継続すべき事業と考えている。</p>		

事務事業分析シート

所属名	選挙管理委員会事務局	事業名	選挙管理委員会運営事業	事業区分	その他
事務事業番号	821				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	12	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	18	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	84	④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	84	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	84	④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
		※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	選挙管理委員会事務局	事務事業番号	821
-----	------------	--------	-----

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

選挙管理委員会は、地方公共団体に設置される合議制の執行機関であるので事務事業評価になじまないが、議決事項等の実施の迅速化を図っていく。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>選挙管理委員会は、地方公共団体に設置される合議制の執行機関であり、当該地方公共団体が処理する選挙に関する事務及びこれに関係のある事務を管理するものとされている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

# 事務事業評価（確認書）

1頁  
平成30年 6月 4日  
13時29分28秒作成

評価年度	平成29年度	所属	4001000000	選挙管理委員会事務局
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

## <基本事項>

事務事業番号	00822	選挙常時啓発事業							
章	02	市民自治が育む自立のまちづくり							
節	03	市民参画によるまちづくり							
細節	10	市民参画の推進							
予算事業	10212	01	02	04	02	01	01	01	選挙常時啓発事業（選挙常時啓発事業費）
所属長	河瀬 隆啓				担当者（内線）宇山（2882）				
根拠法令等	公職選挙法								
事業開始年度	不明	直近の改正		なし					
改正内容	なし								
市単独事業区分	<input type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input checked="" type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

## <事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	市内有権者（未来の有権者も含む）		
目標	市内有権者の政治意識（＝投票の質）が向上する。		
結果	選挙が公正かつ適正に行われ、主権者としての有権者の意思が正しく政治に反映される。		
事業概要	投票方法や選挙違反などの選挙に関する様々な事項について周知を行う選挙時の啓発事業のほか、市内有権者の政治意識の向上のため、吹田市明るい選挙推進協議会と協働で、研修会や講座の開催、機関紙の発行、啓発物品の配布等、常にあらゆる機会を通じて啓発事業を実施する。また、次代を担う未来の有権者（＝小中高生）を対象に、選挙啓発ポスターコンクールの実施や学校での出前授業の実施や投票箱等の貸し出しも行う。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
			主な委託内容
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

## <事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	632	550	564	541	538
人件費職員数(人)	1.50	1.50	2.50	2.50	1.50
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	12,255	11,850	20,130	20,130	11,918
総事業費(A+B)	12,887	12,400	20,694	20,671	12,456
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	12,887	12,400	20,694	20,671	12,456
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	12,887	12,400	20,694	20,671	12,456
財源計(C+D)	12,887	12,400	20,694	20,671	12,456

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	吹田市明い選挙推進協議会と協働で、研修会や講座の開催、機関紙の発行、啓発物品の配布等を行った。また、未来の有権者を対象としたポスターコンクール等の事業も実施した。	目標	市内有権者の政治意識(=投票の質)が向上する。
成果内容	成果指標を数字で掲げるのは困難であるが、吹田市明い選挙推進協議会と協働で開催する講座等へより多くの市内有権者の参加を得ることで、目標達成へとつながるものとする。	達成状況	講座には、吹田市明い選挙推進協議会委員を含め118名の市内有権者の参加がある等、目標達成に向け効果が期待できた。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。(理由:ポスターコンクールを実施したことや講座の参加者数を増加させたこと等、事業の充実を図ることができたため。)</p> <p>【今後の方向性】 公職選挙法第6条では、「常にあらゆる機会を通じて選挙人の政治意識の向上に努める」と規定されており、日常の地道な働きかけをうたっている。この規定は、国をはじめとする各選挙機関の責務を定めたもので、昭和27年以来継続発展してきた明い選挙推進運動と目的を一つにするものである。吹田市でも、昭和39年2月より吹田市明い選挙推進協議会と協力し、責務を果たすよう活動してきており、今後も継続すべき事業と考える。</p>

事務事業分析シート

所属名	選挙管理委員会事務局	事業名	選挙常時啓発事業	事業区分	その他
事務事業番号	822				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点			
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。			
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点		
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。			
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点		
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。			
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点		
(2) 有効性 (20点)	18	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。			
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点		
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。			
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点		
		②事業の目的と受益者が一致していますか。			
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点		
(3) 効率性 (20点)	14	③事業は目標どおりに進捗していますか。			
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。			
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点		
		①単位当たりコストは適正ですか。			
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3点		
(4) 公平性 (20点)	20	②迅速なサービスの提供に努めていますか。			
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点		
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。			
		b. 他の事業・取組との連携を検討している。(3点)	3点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。			
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点		
(5) 持続可能性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。			
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点		
		②サービスの水準は適正ですか。			
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点		
		③適正な受益者負担を求めていますか。			
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点		
(5) 持続可能性 (20点)	20	④公平性を確保するための取組みをしていますか。			
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点		
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。			
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点		
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。			
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点		
(5) 持続可能性 (20点)	20	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。			
		a. 定期的と比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
		評価点合計 (100点満点)	88	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	選挙管理委員会事務局	事務事業番号	822
-----	------------	--------	-----

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

吹田市明るい選挙推進協議会の実施事業において、委員のより自主的かつ積極的な参加を促し、協議会主体のより市民が参加しやすい事業の実施を支援する。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>選挙管理委員会と吹田市明るい選挙推進協議会の協働で、市内有権者の政治意識の向上のため、常にあらゆる機会を通じて様々な啓発事業を実施している。また、同協議会の委員を始め市内有権者を、期日前投票所及び投票日当日の投票所の投票管理者や投票立会人へ選任し、積極的に選挙に関与する機会も設けている。</p> <p>今後も、できる限り多くの市内有権者が常時啓発事業を始め選挙関連事業に携わる機会を設け、目標の達成にむけた支援を展開する。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に係る特記事項)



事務事業評価調書

事務事業名	大阪府議会議員選挙執行事業				
担当部名	選挙管理委員会事務局	室課名	選挙管理委員会事務局	室課長名	河淵 隆啓

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和22年度	改正内容	なし						
(2) 直近の改正	なし								
(3) 根拠法令等	公職選挙法								
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部		<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)						
	<input checked="" type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)								
一部にチェックした場合はその説明									
(5) 総合計画の体系	章	08	基本計画推進のために						
			節						
			04						
			細節						
			00						
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理						
			<input type="checkbox"/> 建設事業						
			<input checked="" type="checkbox"/> その他						
	範囲等	適正な府議会議員選挙の管理・執行							
目標 (どういう状態にしたいのか)	適正な府議会議員選挙の管理・執行								
結果 (どのような効果が得られるのか)	適正な府議会議員選挙の管理・執行								
(7) 事業概要	従事者の選任や各種帳票の作成を始め、多数の機関への依頼、各種説明会・事前打ち合わせを行い、適正な選挙の執行を図る。								
(8) H29事業別 予算コード	会計	01	款						
			02						
			項						
			04						
			目						
			97						
			大事業						
			99						
			中事業						
			99						
			小事業						
			99						
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)		平成30年度 (2018年度)		
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)		
	事業費(A)		0	0	0	0	30,106		
	人件費	職員数	0.00	0.00	0.00	0.00	2.50		
		人							
	総額(B)		0	0	0	0	19,863		
	総事業費(A+B)		0	0	0	0	49,969		
	特定財源(C)		0	0	0	0	30,106		
	(内訳)	国	0	0	0	0	0		
		府	0	0	0	0	30,097		
		その他	0	0	0	0	9		
	市負担(D)		0	0	0	0	19,863		
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0		
		その他	0	0	0	0	0		
一般財源		0	0	0	0	19,863			
財源計(C+D)		0	0	0	0	49,969			
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施								
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①						
			②						
		③							
	主な委託内容								
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①						
②									
③									
内容									
<input type="checkbox"/> その他		内容							

2- 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
		一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
		一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容	適正な府議会議員選挙の管理・執行		目標	適正な選挙の管理・執行	
	②	成果内容	適正な府議会議員選挙の管理・執行		達成状況	管理執行上の問題なく適正に選挙を執行した。(平成27年度)	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		<p>【今後の方向性】 公職選挙法第5条は、選挙の管理機関について定めており、国の選挙は中央選挙管理会、府の選挙は府選挙管理委員会、市の選挙は市選挙管理委員会が管理するものとされているが、府の選挙においても実際に選挙人名簿や各種施設を管理するのが市選挙管理委員会である以上、執行・管理の大半は市選挙管理委員会に委ねられているものである。よって、半永久的に継続すべき事業と考えている。</p>				

# 事務事業分析シート

所属名	選挙管理委員会事務局	事業名	大阪府議会議員選挙執行事業	事業区分	その他
事務事業番号	823				

## 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

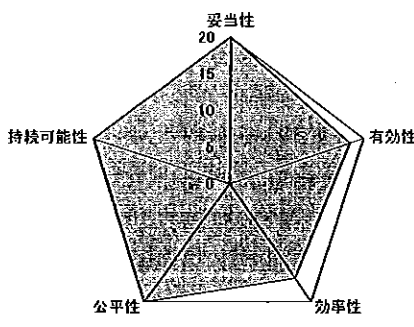
評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組む、具体的な成果を上げている。(5点)	
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	
評価点合計 (100点満点)	94	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	選挙管理委員会事務局	事務事業番号	823
-----	------------	--------	-----

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

選挙執行事業は事務事業評価になじまないものであるが、選挙の公正性、開票事務の迅速化に努めていく。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	公職選挙法第5条に基づき、適正かつ円滑な執行を目的とし実施している。		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	吹田市議会議員及び市長選挙執行事業				
担当部名	選挙管理委員会事務局	室課名	選挙管理委員会事務局	室課長名	河瀬 隆啓

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和22年度	改正内容	なし											
(2) 直近の改正	なし													
(3) 根拠法令等	公職選挙法													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり) <input checked="" type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)													
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	08	基本計画推進のために											
(6) 目的	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理 <input type="checkbox"/> 建設事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他												
	対象(誰を、何を)	範囲等 適正な市議会議員及び市長選挙の管理・執行												
	目標(どういう状態にしたいのか)	適正な市議会議員及び市長選挙の管理・執行												
	結果(どのような効果が得られるのか)	適正な市議会議員及び市長選挙の管理・執行												
(7) 事業概要	従事者の選任や各種帳票の作成を始め、多数の機関への依頼、各種説明会・事前打ち合わせを行い、適正な選挙の執行を図る。													
(8) H29事業別予算コード	会計	01	款	02	項	04	目	98	大事業	99	中事業	99	小事業	99
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成28年度(2016年度)		平成29年度(2017年度)		平成30年度(2018年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		0	0	0	0	14,628							
	人件費	職員数	0.00	0.00	0.00	0.00	2.50							
		総額(B) 千円	0	0	0	0	19,863							
	総事業費(A+B)		0	0	0	0	34,491							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
	市負担(D)		0	0	0	0	34,491							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
一般財源		0	0	0	0	34,491								
財源計(C+D)		0	0	0	0	34,491								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
		主な委託内容	②											
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
		②												
<input type="checkbox"/> その他	内容	③												

2 評価の指標等

指標項目		項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
		達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
		達成度(%)		0.0	0.0		
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
		達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
		達成度(%)		0.0	0.0		
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合	① 活動内容	適正な市議会議員及び市長選挙の管理・執行			目標	適正な選挙の管理・執行	
	② 成果内容	適正な市議会議員及び市長選挙の管理・執行			達成状況	管理執行上の問題なく適正に選挙を執行した。(平成27年度)	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定					
	評価の説明	<p>【今後の方向性】 公職選挙法第5条は、選挙の管理機関について定めており、国の選挙は中央選挙管理会、府の選挙は府選挙管理委員会、市の選挙は市選挙管理委員会が管理するものとされている。よって、半永久的に継続すべき事業と考えている。</p>					

事務事業分析シート

所属名	選挙管理委員会事務局	事業名	吹田市議会議員及び市長選挙執行事業	事業区分	その他
事務事業番号	824				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点		
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点		
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点		
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点		
		④公平性を確保するための取組をしていますか。		
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点		
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができですか。		
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点		
評価点合計 (100点満点)	94	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	選挙管理委員会事務局	事務事業番号	824
-----	------------	--------	-----

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

選挙執行事業は事務事業評価になじまないものであるが、選挙の公正性、開票事務の迅速化に努めていく。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	公職選挙法第5条に基づき、適正かつ円滑な執行を目的とし実施している。		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)



## 事務事業評価調書

事務事業名	衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査執行事業				
担当部名	選挙管理委員会事務局	室課名	選挙管理委員会事務局	室課長名	河瀬 陸啓

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和22年度	改正内容	なし											
(2) 直近の改正	なし													
(3) 根拠法令等	公職選挙法													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり) <input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)													
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	08	基本計画推進のために	節	04	細節	00							
(6) 目的	対象(誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	範囲等	適正な衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査の管理・執行												
	目標(どういう状態にしたいのか)	適正な衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査の管理・執行												
結果(どのような効果が得られるのか)	適正な衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査の管理・執行													
(7) 事業概要	従事者の選任や各種帳票の作成を始め、多数の機関への依頼、各種説明会・事前打ち合わせを行い、適正な選挙の執行を図る。													
(8) H29事業別予算コード	会計	01	款	02	項	04	目	03	大事業	99	中事業	99	小事業	99
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成28年度(2016年度)		平成29年度(2017年度)		平成30年度(2018年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		0	0	112,024	94,526	0							
	人件費	職員数	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00							
		総額(B)	0	0	8,052	8,052	7,945							
	総事業費(A+B)		0	0	112,024	94,526	0							
	特定財源(C)		0	0	112,011	94,488	0							
	(内訳)	国	0	0	112,011	94,488	0							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	2	0							
	市負担(D)		0	0	13	36	0							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
一般財源		0	0	13	36	0								
財源計(C+D)		0	0	112,024	94,526	0								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
		主な委託内容												
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目		項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
		達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
		達成度(%)		0.0	0.0		
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
		達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
		達成度(%)		0.0	0.0		
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容	適正な衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査の管理・執行		目標	適正な選挙の管理・執行	
	②	成果内容	適正な衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査の管理・執行		達成状況	管理執行上の問題なく適正に選挙を執行した。 (平成29年度)	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		【今後の方向性】 公職選挙法第5条は、選挙の管理機関について定めており、国の選挙は中央選挙管理会、府の選挙は府選挙管理委員会、市の選挙は市選挙管理委員会が管理するものとされているが、国の選挙においても実際に選挙人名簿や各種施設を管理するのが市選挙管理委員会である以上、執行・管理の大半は市選挙管理委員会に委ねられているものである。よって、半永久的に継続すべき事業と考えている。				

事務事業分析シート

所属名	選挙管理委員会事務局	事業名	衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査執行事業	事業区分	その他
事務事業番号	826				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

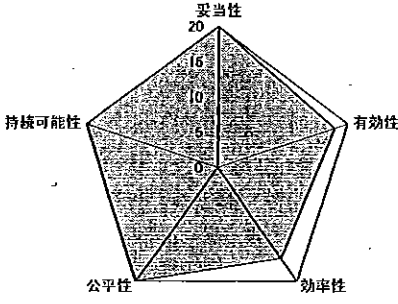
評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
		c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点
(4) 公平性 (20点)	20	④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組む、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	③適正な受益者負担を求めていますか。		
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	94	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができですか。		
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	選挙管理委員会事務局	事務事業番号	826
-----	------------	--------	-----

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

選挙執行业は事務事業評価になじまないものであるが、選挙の公正性、開票事務の迅速化に努めてく。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	公職選挙法第5条に基づき、適正かつ円滑な執行を目的とし実施している。		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

# 事務事業評価（確認書）

1頁  
平成30年 5月18日  
16時16分55秒作成

評価年度	平成29年度	所属	4001000000	選挙管理委員会事務局
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

## <基本事項>

事務事業番号	01465	大阪府知事選挙執行事業		
章	08	基本計画推進のために		
節	04	計画的な行財政運営の推進		
細節	00			
予算事業				
所属長	河瀬 隆啓	担当者（内線）宇山（2882）		
根拠法令等	公職選挙法			
事業開始年度	昭和22年度	直近の改正	なし	
改正内容	なし			
市単独事業区分	<input type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乗せ、横出し等あり） <input checked="" type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

## <事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	適正な府知事選挙の管理・執行		
目標	適正な府知事選挙の管理・執行		
結果	適正な府知事選挙の管理・執行		
事業概要	従事者の選任や各種帳票の作成を始め、多数の機関への依頼、各種説明会・事前打ち合わせを行い、適正な選挙の執行を図る。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①			
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

## <事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	0	0	0	0	0
人件費職員数(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費単価	8,170	8,170	8,052	8,052	0
人件費総額(B)	0	0	0	0	0
総事業費(A+B)	0	0	0	0	0
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	0	0	0
財源計(C+D)	0	0	0	0	0

所属	選挙管理委員会事務局
事務事業番号	01465

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	適正な府知事選挙の管理・執行	目標	適正な選挙の管理・執行
成果内容	適正な府知事選挙の管理・執行	達成状況	管理執行上の問題なく適正に選挙を執行した。(平成27年度)

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【今後の方向性】</p> <p>公職選挙法第5条は、選挙の管理機関について定めており、国の選挙は中央選挙管理会、府の選挙は府選挙管理委員会、市の選挙は市選挙管理委員会が管理するものとされているが、府の選挙においても実際に選挙人名簿や各種施設を管理するのが市選挙管理委員会である以上、執行・管理の大半は市選挙管理委員会に委ねられているものである。よって、半永久的に継続すべき事業と考えている。</p>

事務事業分析シート

所属名	選挙管理委員会事務局	事業名	大阪府知事選挙執行事業	事業区分	その他
事務事業番号	1465				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

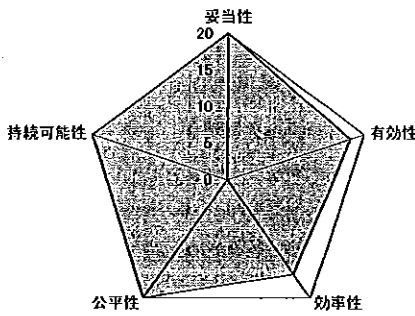
評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	94	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	選挙管理委員会事務局	事務事業番号	1465
-----	------------	--------	------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

選挙執行事業は事務事業評価になじまないものであるが、選挙の公正性、開票事務の迅速化に努めていく。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>公職選挙法第5条に基づき、適正かつ円滑な執行を目的とし実施している。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)



# 事務事業評価（確認書）

1頁  
平成30年 5月25日  
11時13分09秒作成

評価年度	平成29年度	所属	400100000	選挙管理委員会事務局
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

## <基本事項>

事務事業番号	01631	参議院議員通常選挙執行业務				
章	08	基本計画推進のために				
節	04	計画的な行財政運営の推進				
細節	00					
予算事業	11708	01	02	04	99 99 99 99	参議院議員通常選挙執行业務（参議院議員通常選挙執行費）
所属長	河瀬 隆啓			担当者（内線）宇山（2882）		
根拠法令等	公職選挙法					
事業開始年度	昭和22年度	直近の改正	なし			
改正内容	なし					
市単独事業区分	<input type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乗せ、横出し等あり） <input checked="" type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）					

## <事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	適正な参議院議員選挙の管理・執行		
目標	適正な参議院議員選挙の管理・執行		
結果	適正な参議院議員選挙の管理・執行		
事業概要	従事者の選任や各種帳票の作成を始め、多数の機関への依頼、各種説明会・事前打ち合わせを行い、適正な選挙の執行を図る。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	主な委託内容		
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

## <事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	104,062	86,864	0	0	0
人件費職員数(人)	2.50	3.00	0.00	0.00	0.00
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	20,425	23,700	0	0	0
総事業費(A+B)	124,487	110,564	0	0	0
特定財源(C)	104,062	81,813	0	0	0
国	104,040	81,804	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	22	9	0	0	0
市負担(D)	20,425	28,751	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	20,425	28,751	0	0	0
財源計(C+D)	124,487	110,564	0	0	0

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	適正な参議院議員選挙の管理・執行	目標	適正な選挙の管理・執行
成果内容	適正な参議院議員選挙の管理・執行	達成状況	平成28年7月の選挙を管理執行上の問題なく執行した。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	【今後の方向性】 公職選挙法第5条は、選挙の管理機関について定めており、国の選挙は中央選挙管理会、府の選挙は府選挙管理委員会、市の選挙は市選挙管理委員会が管理するものとされているが、国の選挙においても実際に選挙人名簿や各種施設を管理するのが市選挙管理委員会である以上、執行・管理の大半は市選挙管理委員会に委ねられているものである。よって、半永久的に継続すべき事業と考えている。

事務事業分析シート

所属名	選挙管理委員会事務局	事業名	参議院議員通常選挙執行事業	事業区分	その他
事務事業番号	1631				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	94	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	選挙管理委員会事務局	事務事業番号	1631
-----	------------	--------	------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

選挙執行事業は事務事業評価になじまないものであるが、選挙の公正性、開票事務の迅速化に努めていく。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	公職選挙法第5条に基づき、適正かつ円滑な執行を目的とし実施している。		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に係る特記事項)

# 事務事業評価（確認書）

1頁  
平成30年 5月18日  
14時10分40秒作成

評価年度	平成29年度	所属	4001000000	選挙管理委員会事務局
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

## <基本事項>

事務事業番号	01632	神安土地改良区総代会総代総選挙執行事業				
章	08	基本計画推進のために				
節	04	計画的な行財政運営の推進				
細節	00					
予算事業	11709	01	02	04	98 99 99 99	神安土地改良区総代会総代総選挙執行事業（神安土地改良区総代会
所属長	河瀬 隆啓				担当者（内線）宇山（2882）	
根拠法令等	土地改良法					
事業開始年度	昭和26年度	直近の改正	なし			
改正内容	なし					
市単独事業区分	○ 全部 ○ 一部（上乗せ、横出し等あり） ● なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）					

## <事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	適正な神安土地改良区総代会総代総選挙の管理・執行		
目標	適正な神安土地改良区総代会総代総選挙の管理・執行		
結果	適正な神安土地改良区総代会総代総選挙の管理・執行		
事業概要	従事者の選任や各種帳票の作成を始め、多数の機関への依頼、事前打ち合わせを行い、選挙を管理・執行する。		
実施方法	■ 直接実施		
	□ 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	主な委託内容		
□ 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
□ その他	内容		

## <事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	654	575	0	0	0
人件費職員数(人)	0.50	0.50	0.00	0.00	0.00
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	4,085	3,950	0	0	0
総事業費(A+B)	4,739	4,525	0	0	0
特定財源(C)	654	575	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	654	575	0	0	0
市負担(D)	4,085	3,950	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	4,085	3,950	0	0	0
財源計(C+D)	4,739	4,525	0	0	0

所属	選挙管理委員会事務局
事務事業番号	01632

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	適正な総代会総代総選挙の管理・執行	目標	適正な選挙の管理・執行
成果内容	適正な総代会総代総選挙の管理・執行	達成状況	平成28年5月の選挙を管理執行上の問題なく適正に執行した。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定		
評価の説明	【今後の方向性】 土地改良法第23条第4項及び、土地改良法施行令第5条は、選挙の管理機関について定めており、地区が二以上の市町村の区域にわたる場合には都道府県の選挙管理委員会又はその指定する市町村の選挙管理委員会が管理するものとされている。また当該選挙に関する事務を管理する選挙管理委員会は、関係がある都道府県又は市町村の選挙管理委員会の協力を求めることができるとされている。よって、半永久的に継続すべき事業と考えている。		

# 事務事業分析シート

所属名	選挙管理委員会事務局	事業名	神安土地改良区総代会総代総選挙執行事業	事業区分	その他
事務事業番号	01632				

## 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

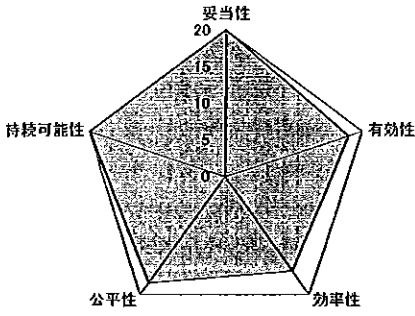
評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点		
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点		
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
a. 事業手法の検討や事務改善に取り組む、具体的な成果を上げている。(5点)	5点		
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点		
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
評価点合計 (100点満点)	92	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	選挙管理委員会事務局	事務事業番号	01632
-----	------------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

選挙執行事業は事務事業評価になじまないものであるが、選挙の公正性、開票事務の迅速化に努めていく。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	土地改良法第23条に基づき、適正かつ円滑な執行を目的とし実行している。		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)